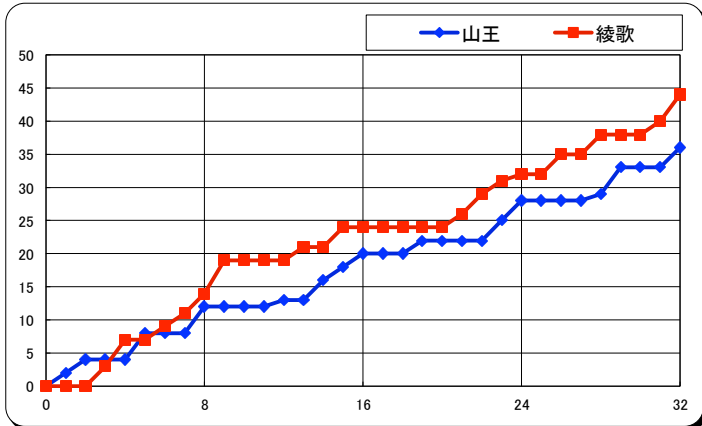




THE 44th ALL ALL JAPAN
Jr HIGH SCHOOL
BASKETBALL CHAMPIONSHIP

大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	高松市香川総合体育館																
日時	平成26年8月23日(土) 16:10																
コート	K Bコート 第6試合																
カテゴリー	男 予選リーグH																
主審	開 康寿 (大阪)																
副審	松澤 清市 (長野)																
Team A	Team B																
山王	36	44															
秋田	●	○															
	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>8</td><td>2nd</td><td>10</td></tr> <tr><td>8</td><td>3rd</td><td>8</td></tr> <tr><td>8</td><td>4th</td><td>12</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	12	1st	14	8	2nd	10	8	3rd	8	8	4th	12		OT		綾歌 香川
12	1st	14															
8	2nd	10															
8	3rd	8															
8	4th	12															
	OT																

【得点経過】



【BOXスコア】

Team A		山王						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	広川 汰輝	×	9	1	3	0	4	
5	藤島 悠太	×	13	0	5	3	3	
6	児玉 海渡	×	6	0	2	2	2	
7	大野 湧史	×	3	0	1	1	4	
8	大嶋 洸輝	×	2	0	1	0	0	
9	新保 優弥	／	3	1	0	0	0	
10	佐藤 奨真	DNP	0	0	0	0	0	
11	吹谷 太郎	DNP	0	0	0	0	0	
12	三浦 駿太郎	DNP	0	0	0	0	0	
13	澤木 海里	DNP	0	0	0	0	0	
14	太田 弘人	DNP	0	0	0	0	0	
15	嵯峨 大輝	DNP	0	0	0	0	0	
16	阿部 聖磨	DNP	0	0	0	0	0	
17	阿部 竜翔	DNP	0	0	0	0	0	
18	佐藤 謙成	DNP	0	0	0	0	0	
監督	小納 英之						0	
コーチ	齊藤 徳子						0	
合 計			36	2	12	6	13	

Team B		綾歌						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	田中 宗一郎	／	0	0	0	0	2	
5	高田 開	×	9	3	0	0	0	
6	中村 碧生	×	11	0	5	1	2	
7	小野 晴貴	×	14	1	5	1	3	
8	松川 高輔	×	4	0	1	2	4	
9	大高 立巳	／	0	0	0	0	0	
10	山中 喬矢	／	0	0	0	0	1	
11	村上 諒真	／	0	0	0	0	0	
12	北本 愛貴	×	6	2	0	0	2	
13	大林 輝生	DNP	0	0	0	0	0	
14	林 優人	DNP	0	0	0	0	0	
15	岩田 憲伸	DNP	0	0	0	0	0	
16	藤原 明統	DNP	0	0	0	0	0	
17	久保田 光軌	DNP	0	0	0	0	0	
18								
監督	北本 真司						0	
コーチ	善生 昌弘						0	
合 計			44	6	11	4	14	

【戦評】

東北ブロック代表山王と開催地代表綾歌の一戦。予選リーグH1位通過をかけた、両チームとも譲れない一戦である。1Q序盤はどちらもミスが多かったが、残り5分綾歌#7が3P、2P、リバウンドシュートと3連続得点で綾歌リード。山王は勢いを止めるためタイムアウト。タイムアウト後、山王#4が連続得点で逆転に成功。一進一退の攻防が続き、山王14-12綾歌で1Q終了。2Qスタート、綾歌#7がバスケットカウントを決め、綾歌に流れが来始める。中盤両チーム苦しい時間帯が続くが、綾歌は徐々にリードを広げる。残り3分、山王タイムアウト。そこから山王は#5の高さを生かしたプレイで流れをつかみかける。しかし、残り1分綾歌#12が3Pを決め、譲らない。山王20-24綾歌で前半を終える。

後半山王ボールでスタート。山王は#5のポストアップを起点とし、よくパスが回るようになる。#6がフリースローを2本とも決め山王が2点差に詰める。残り3分、綾歌#6の1対1でようやく後半初得点。その流れを#5が3Pを入れてつなげる。綾歌#8が残り1分スティールからファウルをもらう。山王#9が終了と同時に3Pを決め、山王28-32綾歌で3Q終了。4Q両チーム気持ちの入った激しいDefを見せる。綾歌は残り4分#5が3Pを決め、10点差に広げる。山王はオールコートプレスで綾歌のミスを誘う。お互いに強気のプレイで最後までシュートを狙う。山王36-44綾歌で試合終了。開催地代表の綾歌が予選リーグ1位通過を決めた。

【戦評記者】

田中 恵美